



平成30年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年11月12日

上場会社名 株式会社アゴラ・ホスピタリティ・グループ
 コード番号 9704 URL <http://www.agorahospitalities.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) クォック・ゲイリー・ヤン・クエン

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐藤 暢樹

TEL 03-3436-1860

四半期報告書提出予定日 平成30年11月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第3四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第3四半期	5,076	10.2	50		217		317	
29年12月期第3四半期	5,653	4.6	35		2		210	39.6

(注) 包括利益 30年12月期第3四半期 227百万円 (%) 29年12月期第3四半期 227百万円 (42.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第3四半期	1.25	
29年12月期第3四半期	0.79	0.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第3四半期	17,700	9,174	44.9
29年12月期	18,141	9,456	45.3

(参考) 自己資本 30年12月期第3四半期 7,951百万円 29年12月期 8,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		0.00		0.00	0.00
30年12月期		0.00			
30年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成30年12月期の配当は未定とさせていただきます。

3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,800	10.6	40		100		450		0.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期3Q	281,708,934 株	29年12月期	281,708,934 株
期末自己株式数	30年12月期3Q	27,764,192 株	29年12月期	27,763,760 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期3Q	253,945,029 株	29年12月期3Q	264,653,678 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、7月の西日本を中心に被災した豪雨被害、9月の台風21号の上陸による関西国際空港等の被災、北海道胆振東部地震による景気への影響についても心配されましたが、緩やかな回復基調が続いており、先行きについては、コストの上昇、米中の通商問題の動向等に対する懸念もある一方、災害からの復旧等への期待がみられました。

当社グループにおける当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高では前年同四半期を下回る5,076百万円(前年同四半期比10.2%減)となり、営業費用の抑制に努めましたが、営業損失は50百万円(前年同四半期は営業損失35百万円)となりました。営業外費用として、豪ドル建て資産に関して79百万円の為替差損が発生したこと等により、経常損失は217百万円(前年同四半期は経常損失2百万円)となりました。また、特別損失として旧軽井沢ホテルに関する閉鎖費用9百万円を特別損失として計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は317百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益は210百万円)となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです

① 宿泊事業

大阪地域における7月の豪雨、9月の台風21号、24号の影響により、ビアガーデンおよび宴会のキャンセルが発生したこと、2018年1月に旧軽井沢ホテルの営業が終了したこと等により、売上高4,548百万円(前年同四半期比11.8%減)となりました。一方、残業代の抑制等により営業費用の削減に努めましたが、営業利益は35百万円(前年同四半期比42.1%減)となりました。

② その他投資事業

その他投資事業部門におきましては、マレーシアにおける霊園事業に関する販売は堅調に推移したことに加え、現地通貨に対し円が弱くなったことにより、売上高では前年同四半期を上回る528百万円(前年同四半期比6.6%増)となりました。また、住宅等不動産開発事業において修繕等の費用の抑制に努めた結果、営業利益は110百万円(前年同四半期比40.5%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2.4%減少し、17,700百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて7.5%減少し、3,145百万円となりました。これは、現金及び預金が218百万円減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.3%減少し、14,555百万円となりました。これは、建物及び構築物が160百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、8,525百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて80.0%増加し、4,805百万円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金が2,317百万円増加したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて38.2%減少し、3,720百万円となりました。これは、長期借入金が2,247百万円減少したことなどによります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、9,174百万円となりました。これは、利益剰余金が317百万円減少し、為替換算調整勘定が38百万円増加したことなどによります。

(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の連結業績予想につきましては、現在までの業績を踏まえて、平成30年2月9日に公表いたしました平成30年12月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、平成30年11月12日に公表いたしました「営業外費用の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,372,385	1,154,137
売掛金	420,438	291,152
有価証券	180,373	200,343
貯蔵品	77,488	58,095
開発事業等支出金	1,026,978	1,094,053
その他	342,209	352,386
貸倒引当金	△18,172	△5,064
流動資産合計	3,401,701	3,145,105
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,513,696	3,353,098
車両運搬具(純額)	17,224	5,892
工具、器具及び備品(純額)	102,713	92,268
土地	6,072,214	6,147,214
住宅用賃貸不動産(純額)	2,760,460	2,744,029
建設仮勘定	3,350	27,951
有形固定資産合計	12,469,660	12,370,455
無形固定資産		
商標権	2,801	2,423
ソフトウェア	10,145	7,990
のれん	1,706,594	1,597,201
無形固定資産合計	1,719,541	1,607,615
投資その他の資産		
投資有価証券	37,240	36,827
長期貸付金	423,523	372,120
その他	90,235	168,086
投資その他の資産合計	551,000	577,034
固定資産合計	14,740,201	14,555,105
資産合計	18,141,903	17,700,211

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	311,890	187,590
1年内返済予定の長期借入金	782,105	3,099,623
未払金	928,610	971,653
未払費用	27,017	21,263
未払法人税等	81,200	33,405
賞与引当金	50,927	42,513
ポイント引当金	427	157
資産除去債務	26,000	26,000
その他	461,322	423,482
流動負債合計	2,669,500	4,805,689
固定負債		
長期借入金	5,439,788	3,192,190
長期預り保証金	530,431	503,988
繰延税金負債	267	447
その他	45,321	23,569
固定負債合計	6,015,808	3,720,196
負債合計	8,685,309	8,525,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,534,406	8,534,406
資本剰余金	2,642,464	2,646,000
利益剰余金	△1,857,181	△2,174,353
自己株式	△1,033,512	△1,033,526
株主資本合計	8,286,178	7,972,527
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△60,033	△21,419
その他の包括利益累計額合計	△60,033	△21,419
非支配株主持分	1,230,448	1,223,216
純資産合計	9,456,593	9,174,324
負債純資産合計	18,141,903	17,700,211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
売上高	5,653,357	5,076,971
売上原価	3,989,343	3,568,696
売上総利益	1,664,013	1,508,274
販売費及び一般管理費	1,699,381	1,558,694
営業損失(△)	△35,367	△50,420
営業外収益		
受取利息	322	226
受取配当金	2	2
為替差益	53,533	-
受取家賃	2,891	3,438
プリペイドカード失効益	1,971	2,071
違約金収入	40,000	-
その他	16,991	1,835
営業外収益合計	115,713	7,574
営業外費用		
支払利息	31,248	42,839
為替差損	-	79,753
資金調達費用	3,916	24,688
持分法による投資損失	30,357	21,213
開業費償却	9,109	-
その他	8,222	5,957
営業外費用合計	82,854	174,452
経常損失(△)	△2,508	△217,298
特別利益		
新株予約権戻入益	1,955	-
受取補償金	267,377	-
賃貸借契約解約益	51,936	-
特別利益合計	321,269	-
特別損失		
事業撤退損	-	9,460
特別損失合計	-	9,460
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	318,761	△226,758
法人税、住民税及び事業税	71,025	39,161
法人税等調整額	△1,342	-
法人税等合計	69,682	39,161
四半期純利益又は四半期純損失(△)	249,078	△265,920
非支配株主に帰属する四半期純利益	38,793	51,252
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	210,285	△317,172

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	249,078	△265,920
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△21,885	38,614
その他の包括利益合計	△21,885	38,614
四半期包括利益	227,193	△227,305
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	188,400	△278,557
非支配株主に係る四半期包括利益	38,793	51,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,157,239	496,118	5,653,357	—	5,653,357
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,157,239	496,118	5,653,357	—	5,653,357
セグメント利益	62,097	78,549	140,647	△176,015	△35,367

(注) 1. セグメント利益の調整額△176,015千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	宿泊事業	その他投資事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,548,045	528,926	5,076,971	—	5,076,971
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,548,045	528,926	5,076,971	—	5,076,971
セグメント利益	35,940	110,379	146,319	△196,739	△50,420

(注) 1. セグメント利益の調整額△196,739千円は、各報告セグメントに配賦されない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。